

対馬南警察署協議会第4回会議議事概要

日 時	令和3年10月15日 金曜日 晴天 自 13時30分 至 15時10分
場 所	対馬南警察署 3階講堂
出 席 者	1 協議会 安田会長 松村委員 河原委員 前川委員 2 警察署 野中署長 奥野副署長 梅野警務課長 鳥谷刑事生活安全課長 松永交通課長 3 書 記 警務係長
会 議 の 状 況	1 前回会議での協議会の意見に対する推進状況について 署長から、前回協議会の提出意見に関する推進状況について、次のとおり説明があった。 (1) 「特殊詐欺対策の推進」について ア 県内における特殊詐欺の認知件数が増加したことに伴い、対馬市役所に対して高齢者の閲覧が期待できる広報「つしま」への特殊詐欺被害防止対策に関する記事掲載を依頼し、市民に広く被害防止を呼び掛けた。 イ 対馬市内において、本年7月から9月にかけて架空請求詐欺未遂、還付金詐欺未遂の予兆電話が発生したことに伴い、対馬市役所に対し、防災無線による特殊詐欺被害防止のための広報を依頼し、市民に被害の防止を呼び掛けた。 ウ 「安心メール・キャッチくん」を登録している住民に対し、特殊詐欺に関する発生情報や被害の未然防止対策等をメール配信し、被害の未然防止を呼び掛けた。 エ 8月4日、地元大船越中学校の生徒による職場体験に伴い、特殊詐欺の被害者となりやすい高齢者が多数訪れるサイキバリュウ美津島店の協力を得て、生徒らとともに防犯キャンペーンを実施し、特殊詐欺被害防止広報チラシや「安心メール・キャッチくん」登録広報チラシを来店客に配布し、被害防止を呼び掛けた。 オ 当署において、特殊詐欺の現状や被害防止を内容とする広報紙「生活安全ニュース」を作成し、BizFAXにより関係機関や団体に配信して、広く注意喚起を行った。 カ 8月6日、乙宮小学校において開催された教職員対象の不審者侵入時の対応訓練に参加した際、訓練の講評や刺股の活用方法の説明に加えて、特殊詐欺の現状や防犯講話、「安心メール・キャッチくん」の登録広報を実施した。 キ 年金支給日の8月13日に合わせて、高齢者を始めとする地域住民の防犯意識の向上を図るため、十八親和銀行対馬支店や巖原郵便局の協力を得て、特殊詐欺被害を防止するためのプラカードを掲げて、広報チラシを配布しながら被害防止を呼び掛けた。 ク 警察安全相談受理時に、その内容が「特殊詐欺容疑」であった場合は、状況を詳細に聴取するとともに、被害に遭わないための防犯指導を行った。

(2) 「積極的な情報発信・情報共有」について

ア 対馬市内の金融機関、商業施設、タクシー会社、学校等の企業、関係機関や団体等98か所にFAX送信(BizFAX)して、「安心メール・キャッチくん」の登録方法や情報内容について広報した。

イ 交番・駐在所において発行するミニ広報紙9月号において「安心メール・キャッチくん」の存在や登録方法、情報内容等について掲載し、管内全域への住民への周知を図った。

ウ 7月14日、美津島文化会館において、対馬南警察署管内にある小中学校の代表者が出席した「学校警察連絡協議会」を開催し、当署からも署長を始め、刑事生活安全課長、交通課長及び地域課の各幹部が出席して青少年非行の現状や交通安全、水難事故防止を呼び掛ける活動を行い、学校関係者との意見交換や情報共有を行った。

エ 8月4日、サイキバリュー美津島店において、職場体験に参加した大船越中学校の生徒3名と共に「安心メール・キャッチくん」の広報チラシ等を来店客に配布して住民への周知を図った。

オ 各交番・駐在所では、7・8月中、ミニ広報紙に水難・山岳遭難事故防止の記事を掲載し、各自治会の回覧板等により広報活動を実施した。

カ 災害への備えとして台風対策に関する「防犯だより」を作成の上、回覧板で回付するとともに、各種キャンペーン等における配布により、住民の防災意識の向上を図った。

キ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に伴う国際テロ対策として、警察署及び各交番・駐在所のほか、対馬空港、厳原港ターミナル、ティアラ等計17か所に広報チラシを掲示した。

ク 対馬市広報誌「広報つしま(8月号)」に広報記事の掲載を依頼し、対馬市ケーブルテレビにおいても7月5日から9月5日までの間、広報記事の放映を依頼した。

ケ 防犯キャンペーン等の機会を利用し、サイキバリュー美津島店、十八親和銀行対馬支店及び厳原郵便局において、利用者計約150人に対して広報チラシを配布した。

(3) 「街頭活動の強化による各種犯罪抑止活動の推進」について

ア 7月2日、8月6日、厳原町内の対馬市交流センターやファミリーマート界限において対馬南地区少年補導、厳原町青少年健全育成協議会会長等と署員との合同による夜間の街頭補導活動を実施した。

イ 交番・駐在所の警察官が、高齢者を中心とした住民の方とのコミュニケーションをとりながら、特殊詐欺被害防止、鍵かけの励行、交通法令の遵守について指導を実施した。

ウ 本年6月、千葉県八街市で児童5人が死傷する交通事故が発生したことに伴い、子どもが被害に遭う事故を繰り返さないよう通学路における街頭監視活動やパトロールを強化した。

エ 隣接する駐在所員2人が1組でパトカーを使用し、赤色回転灯を点灯しながらの警ら活動(通称「レッド走行」)や検問活動を実施し、犯罪及び交通事故の抑止を図った。

オ 事件・事故等の突発事案対応を除いては、毎日深夜時間帯において、制服警察官による厳原町内のコンビニエンスストアに対する夜間警戒や立ち寄り等を行い、少年の非行と犯罪の未然防止に努めた。

カ 本年7月から9月中、対馬南署警察用船舶「つしま」による海上からの警戒を各月10回、長崎県警察本部地域部地域課航空隊の航空機(ヘリコプター)「さいかい」による対馬上空からの警戒を1回実施した。

会議の状況

交通課長から、次のとおり説明があった。

- (1) 対馬南警察署の取締り重点
- (2) 対馬南警察署管内における交通事故実態(令和3年上半期)
- (3) その他の交通指導取締り重点

3 令和3年7月から9月までの業務推進結果について
署長から、次のとおり説明があった。

(1) 警察相談窓口の周知徹底と利用促進

ア 各種広報媒体を利用した警察相談窓口広報の推進

- (ア) ケーブルテレビを活用した広報活動
- (イ) 地元新聞を活用した広報活動
- (ウ) 公共交通機関を活用した広報活動
- (エ) 店舗映像施設を活用した広報活動
- (オ) 警察施設の掲示板を活用した広報活動
- (カ) ミニ広報紙を活用した広報活動

イ 警察安全相談出張所の開設

(2) 少年の非行防止と福祉犯被害の未然防止活動の強化

ア 各種会合、広報活動を通じた被害の未然防止

- (ア) 薬物乱用防止指導員協議会及び研修会への参加
- (イ) ミニ広報紙等を活用した広報活動の実施

イ 街頭活動を通じた非行の未然防止

- (ア) 厳原町内における合同街頭補導活動の実施
- (イ) 深夜時間帯におけるパトロールの強化

ウ 学校等関係機関との連携強化と情報共有

- (ア) 学校警察連絡協議会の開催
- (イ) 非行防止講話の実施
- (ウ) メディア講話の実施

(3) 特殊詐欺に対する被害防止と取締活動の強化

ア あらゆる機会を通じた広報啓発活動の実施

イ 金融機関、コンビニエンスストア等関係機関・店舗との連携強化

ウ 予兆電話発生時における特殊詐欺被害防止に向けたATM警戒

(4) 通学路・生活道路対策の推進

ア 街頭における交通指導取締り等による歩行者保護活動の推進

(ア) 交通指導取締り状況(7～9月)

- 交通指導取締り総数
- うち通学路・生活道路における取締り件数

(イ) 街頭活動の実施

- 始業式当日における通学路の交通安全対策の実施
- 秋の全国交通安全運動の実施
- 全国交通安全運動期間中における、全国一斉取締りの実施

(ウ) 通学路点検の実施

イ その他

(ア) ケーブルテレビ、ミニ広報紙及び交番速報を活用した広報啓発

(イ) 小学校における交通安全教室及び小学生に対する交通安全指導の実施

(ウ) 交通安全施設の更新作業

(5) 台風期における災害防止対策の推進

ア 関係機関との連携強化

イ 災害警備実施結果

ウ 各種災害防止対策の推進

(6) 国際テロ対策の推進

ア 関係機関との連携強化

イ 広報活動及び管理者対策の推進

(ア) 各種広報活動

(イ) 管理者対策の推進

(7) 夏期における山岳・水難事故防止

<p>会議の状況</p>	<p>ア 山岳・海水浴場の警戒 (ア) 山岳警戒の実施 (イ) 海水浴場警戒の実施 ○ 海水浴場開設、利用者数 ○ 水難事故発生状況 ○ 対策 ・管理者(対馬市財産管理運用課)による事故防止対策 ・駐在所、パトカー勤務員による警戒の実施 イ ミニ広報紙による広報活動の実施 ウ 水難事故救助者への署長感謝状贈呈</p> <p>4 令和3年10月から12月までの業務運営計画について署長から次のとおり説明があった。</p> <p>(1) 犯罪被害者支援活動の住民への周知徹底 各種媒体を利用した犯罪被害者支援活動の周知広報の推進</p> <p>(2) 年末における犯罪抑止対策の推進 ア 街頭活動の強化による犯罪抑止対策の推進 イ 積極的な広報活動の推進</p> <p>(3) 飲酒運転の根絶対策の推進 ア 交通指導取締り強化 イ 広報啓発活動の推進</p> <p>(4) 北朝鮮人権侵害問題啓発週間に伴う広報活動の推進 各種広報啓発活動の推進</p> <p>(5) 各種警戒活動の強化 ア 制服警察官による見せる警戒活動の推進 イ 効果的な職務質問による犯罪検挙の推進</p>
<p>提出意見</p>	<p>○ 年末に向けた各種犯罪及び交通事故抑止対策の推進について年末という慌ただしい時期となり、人の流れも多く、各種犯罪が発生する可能性が高くなると思われることから、犯罪の抑止対策に努めてもらいたい。 また年末は、忘年会等飲酒の機会も多くなることから、交通指導取締りを始めとした交通事故抑止対策にも努めてもらいたい。</p>